

Indicators Update

2012年8月22日 全10頁

7月貿易統計～輸出が弱含み

輸出金額が市場コンセンサスを大きく下回る

経済調査部 エコノミスト
長内 智

[要約]

- **【概況】輸出金額が市場コンセンサスを大きく下回る**：2012年7月の貿易統計は、海外経済減速の影響によって輸出が弱含み、先行き不透明感が残る内容であった。7月の輸出金額は前年比▲8.1%と市場コンセンサスを大きく下回り、2ヶ月連続のマイナスとなった。輸出金額の季節調整値をみても、前月比▲1.1%と3ヶ月連続の減少となり、足下で弱含み傾向がみられる。7月の輸入金額は、前年比+2.1%と2ヶ月振りの増加。この結果、貿易収支は▲5,174億円と2ヶ月振りの赤字となった。
- **【地域・商品別動向(名目)】幅広い商品の輸出が減少**：主要商品別にみると、7月の輸出は幅広い業種で減少したことが確認できる。減少した業種では、「化学製品」、「一般機械」、「電気機器」が注目される。他方、輸出が増加した業種では、「輸送用機器」が前年比+1.2%と小幅ながらも6ヶ月連続で増加した。主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+4.7%、EU向けが同▲25.1%、アジア向けが同▲9.0%となった。
- **【今後の見通し】輸出の下振れリスクが強まる**：輸出は、欧州債務問題が一段と深刻化しなければ、腰折れせずに横ばい圏でしばらく推移すると考えている。ただし、下振れリスクは依然として強い。当社の輸出数量指数の推計値が、弱含み傾向にあることにも注意したい。輸入は、これまでの増加基調に一服感が出始めると考える。輸出が横ばい圏で推移して、輸入も高い状況が続く結果、貿易収支が黒字基調に転じるには、もうしばらく時間を要するとみている。

【概況】輸出金額が市場コンセンサスを大きく下回る

2012年7月の貿易統計は、海外経済減速の影響によって輸出が弱含み、先行き不透明感が残る内容であった。7月の輸出金額は前年比▲8.1%と市場コンセンサス(同▲2.9%)を大きく下回り、2ヶ月連続のマイナスとなった。輸出金額の季節調整値をみても、前月比▲1.1%と3ヶ月連続の減少となり、足下で弱含み傾向がみられる。総じてみると、輸出は横ばい圏で推移していると判断しているが、下振れリスクが前月よりも強まった点には注意が必要であろう。この背景には、財政問題を抱えるEU地域の景気失速や中国などの新興国経済の減速がある。そのため、不確実性が高まっている海外経済の行方については、引き続き慎重に見極めていきたいと考えている。7月の輸入金額は、前年比+2.1%と2ヶ月振りの増加となった。エネルギー価格の調整を受けて、輸入価格が前年比▲4.6%と2ヶ月連続のマイナスとなった一方で、代替燃料の需要増によって、輸入数量が同+7.0%と増加して輸入金額を押し上げた。この結果、貿易収支は▲5,174億円と2ヶ月振りの赤字となった。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2011年		2012年						7月
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
輸出金額	▲4.5	▲8.0	▲9.2	▲2.7	5.9	7.9	10.0	▲2.3	▲8.1
コンセンサス									▲2.9
DIR予想									▲3.7
輸入金額	11.5	8.2	9.6	9.3	10.6	8.1	9.4	▲2.2	2.1
輸出数量	▲4.4	▲6.6	▲10.1	▲3.8	3.7	4.7	9.3	▲2.3	▲10.4
価格	▲0.1	▲1.5	1.0	1.2	2.1	3.1	0.6	0.1	2.5
輸入数量	▲1.0	▲0.7	3.1	3.2	3.1	1.9	8.5	▲0.7	7.0
価格	12.5	8.9	6.3	5.9	7.3	6.1	0.9	▲1.6	▲4.6
貿易収支	▲6,912	▲2,083	▲14,815	254	▲871	▲5,239	▲9,172	603	▲5,174

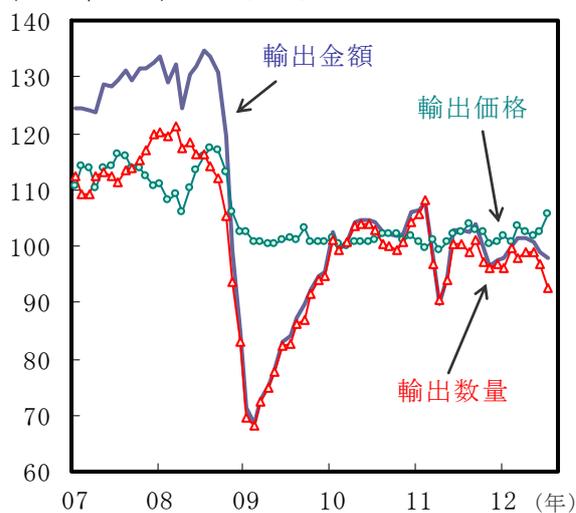
(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

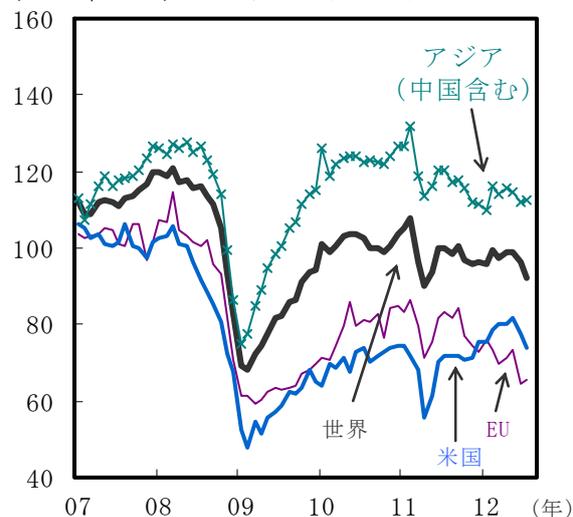
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移(季節調整値)

(2005年=100) 金額・数量・価格



(2005年=100) 地域別の数量指数



(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

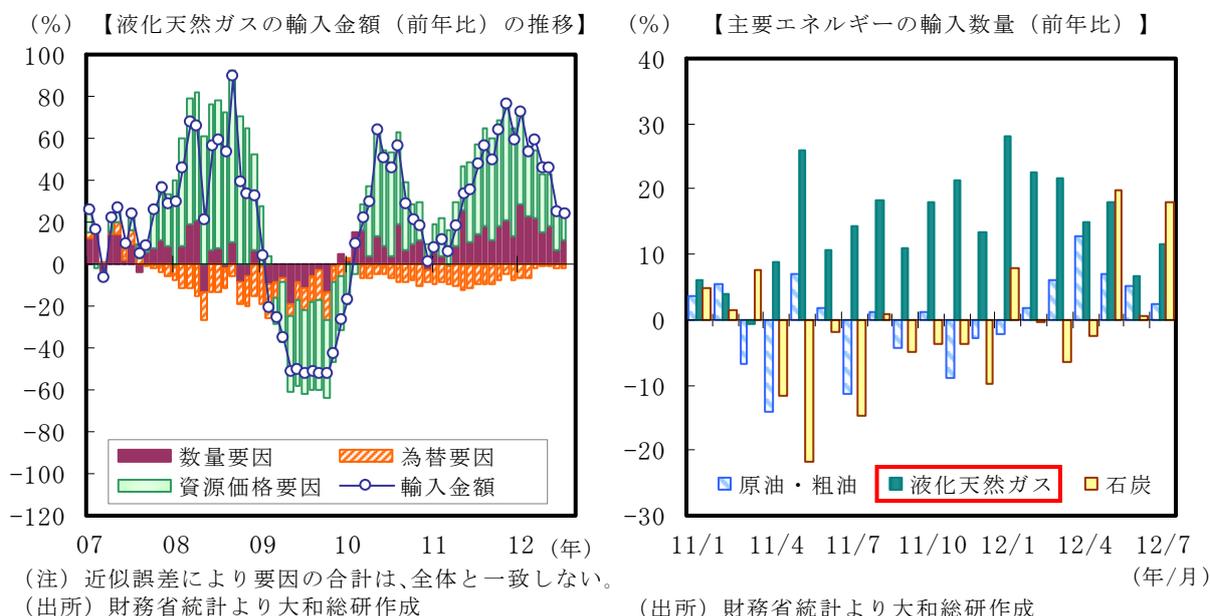
(出所) 財務省統計より大和総研作成

【地域・商品別動向(名目)】幅広い商品の輸出が減少

主要商品別にみると、7月の輸出は幅広い業種で減少したことが確認できる。減少した業種では、「化学製品」、「一般機械」、「電気機器」が注目される。「化学製品」は前年比▲8.2%と11ヶ月連続の減少となり、マイナス幅が前月（前年比▲4.4%）より拡大するなど、輸出環境は厳しい状況にある。EU向けとアジア向け輸出の低迷が長引いていることに加えて、米国向けが3ヶ月振りのマイナスに転じこも押し下げに作用した。「一般機械」は前年比▲13.5%と4ヶ月連続のマイナスとなり、マイナス幅も前月（▲10.2%）から拡大した。EU向けとアジア向けが低下したことに加えて、公共投資が伸び悩んでいる中国向け「建設用・鉱山用機械」の落ち込みが目立つ。また、「電気機器」は、米国向けがプラスを維持したものの、EU向けが大きく減少したことで、前年比▲9.2%と3ヶ月振りのマイナスとなった。他方、輸出が増加した業種では、「輸送用機器」が前年比+1.2%と小幅ながらも6ヶ月連続で増加した。これは、欧州債務問題の影響で欧州向けが大きく減少した一方で、米国向けが好調を維持したことによる。輸入については、代替燃料である「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+24.2%、輸入数量が同+11.6%と揃って増加した。ただし、「液化天然ガス」の輸入金額は、輸入数量の伸びが低下傾向にあり、資源価格の押し上げ効果も減衰しつつあるため、今後は頭打ち傾向が徐々に強まると考えている（図表3）。

主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+4.7%（6月、同+15.1%）、EU向けが同▲25.1%（6月、同▲21.3%）、アジア向けが同▲9.0%（6月、同▲4.4%）となった。経済の緩やかな回復が続く米国向け輸出は9ヶ月連続のプラスと回復基調を維持したものの、プラス幅が大きく低下し、これまでの増勢に陰りが見え始めた。EU向け輸出は、欧州債務問題に伴う景気悪化によって同地域の内需が落ち込んでいる影響で、マイナス基調が継続した。アジア向けは、前年からの反動増の影響が剥落したことに加えて、経済減速の顕在化などから、2ヶ月連続のマイナスとなった。

図表3：液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量（前年比）



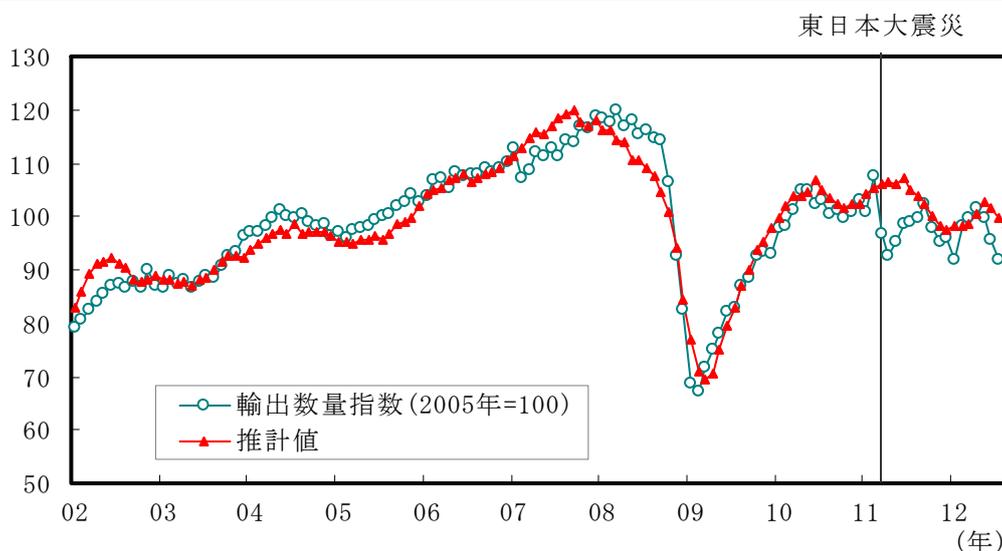
【今後の見通し】輸出の下振れリスクが強まる

輸出は、欧州債務問題が一段と深刻化しなければ、腰折れせずに横ばい圏でしばらく推移すると考えている。これは、緩やかな景気回復が続く米国向け輸出が底堅く推移し、金融緩和政策による景気下支え効果が今後期待される新興国向けの輸出が徐々に改善すると考えるためである。ただし、欧州債務問題を起因とする緊縮財政政策や信用収縮などによって、欧州で景気後退局面に陥る国が相次いでいるため、欧州向け輸出はしばらく弱含み傾向が続くと考えている。さらに、新興国の金融緩和政策の効果が限定的なものに留まっていることを踏まえると、下振れリスクは依然として強い。また、当社の輸出数量指数の推計値が、弱含み傾向にあることにも注意したい（図表4）。

輸入は、これまでの増加基調に一服感が始めると考える。これは、国際商品市況の調整や代替燃料輸入の一巡が背景にある。輸入の前年比を寄与度分解すると、エネルギー価格要因の寄与は、32ヶ月振りのマイナスとなった（図表5）。他方、日本の液化天然ガスの調達価格が国際的に割高な水準にあることや、資源価格が中東地域の地政学的リスクや投機マネーの流入によって再び上昇するリスクが残っている点には注意が必要であろう。

当社は、輸出が横ばい圏で推移して、輸入も高い状況が続く結果、貿易収支が黒字基調に転じるには、もうしばらく時間を要するとみている。貿易収支の前年差を寄与度分解すると、輸出数量の寄与は6月にマイナスに転じ、7月にマイナス幅が大きく拡大したことを確認できる（図表6）。そのため、海外経済の先行きについては、しばらく慎重に見極めていく必要があると考えている。

図表4：世界景気と為替による輸出数量指数の推計値



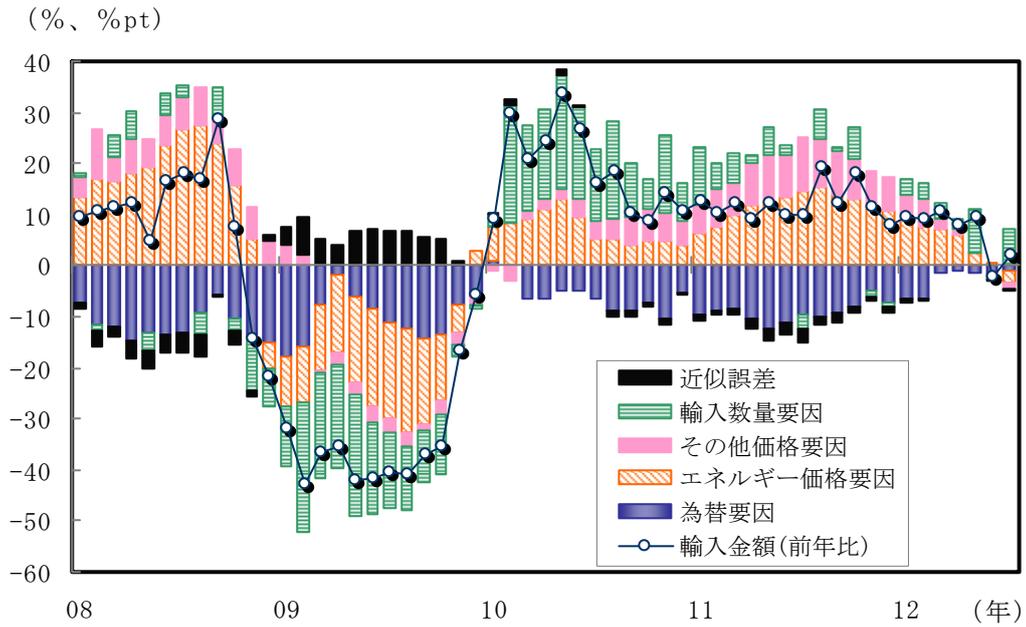
(注1) 輸出数量(推計値) = $-396.45 + 5.38 \times \text{OECD_CLI}[-2] + 0.09 \times \text{主要国生産指数}[-2] - 0.53 \times \text{実質実効為替}[-2] - 8.32 \times \text{震災ダミー}$

* 括弧内[]は先行月数。係数は全て1%有意。推計期間は02年1月～12年5月。
OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。
主要国生産指数は14ヶ国の生産指数を日本の輸出額で加重平均したもの。
震災ダミーの期間は11年3月～11年8月。

(注2) 輸出数量指数の季節調整は内閣府、直近月は大和総研推計。

(出所) 財務省、内閣府、OECD、日本銀行、Haver Analyticsより大和総研作成

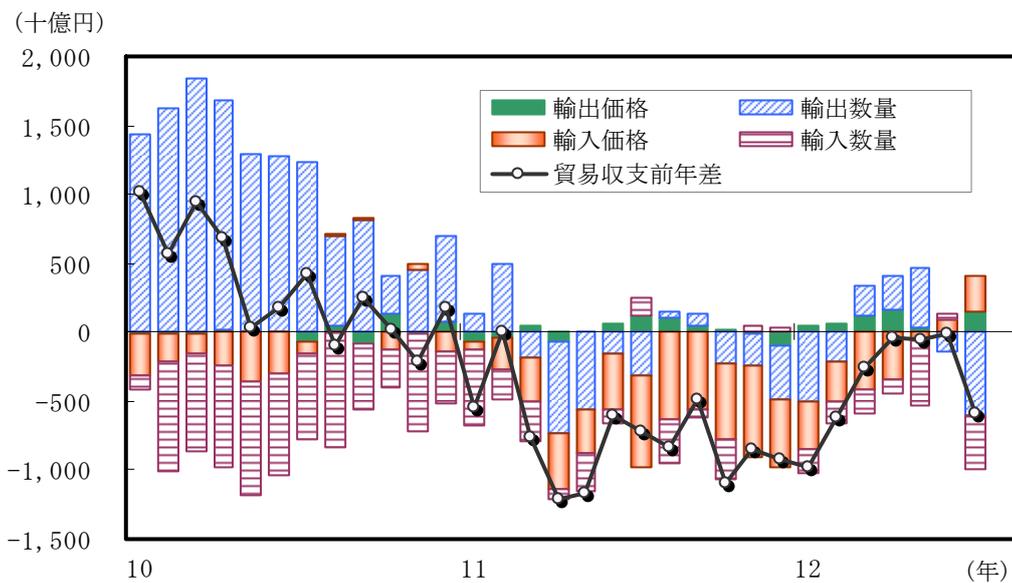
図表 5 : 輸入金額(前年比)の寄与度分解



(注) エネルギー価格要因は、鉱物性燃料（石油、天然ガス、石炭等）の寄与度。

(出所) 財務省より大和総研作成

図表 6 : 貿易収支(前年差)の要因分解

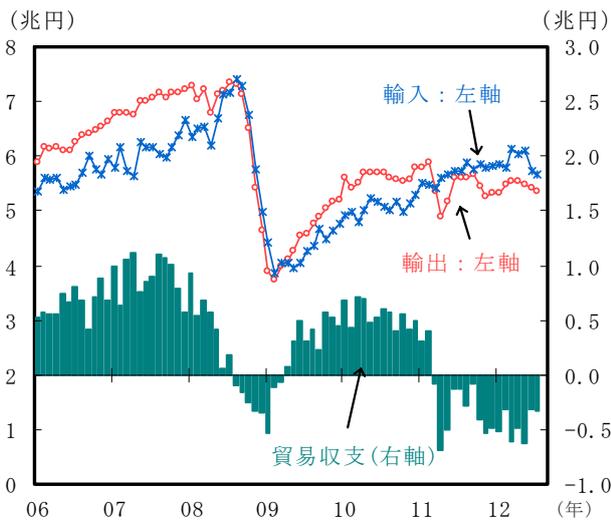


(出所) 財務省統計より大和総研作成

概況

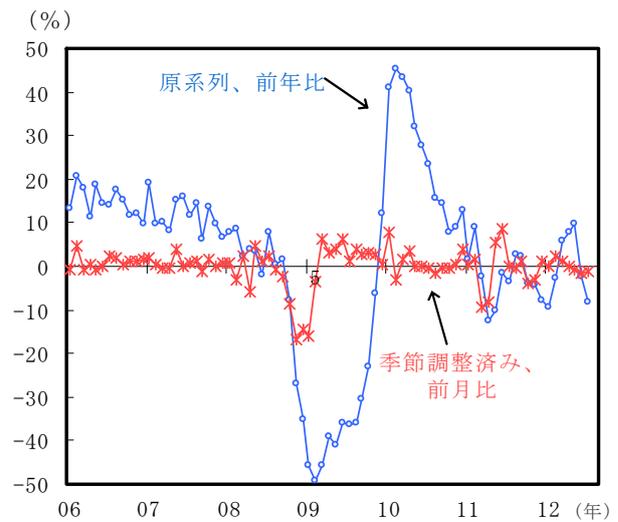
輸出と輸入ともに弱含み

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

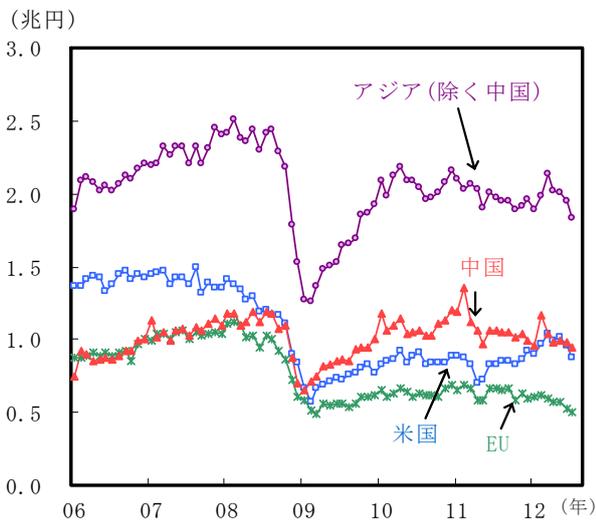


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

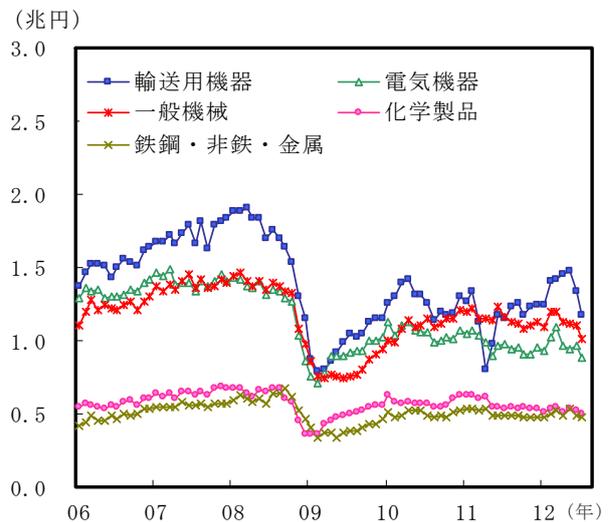


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

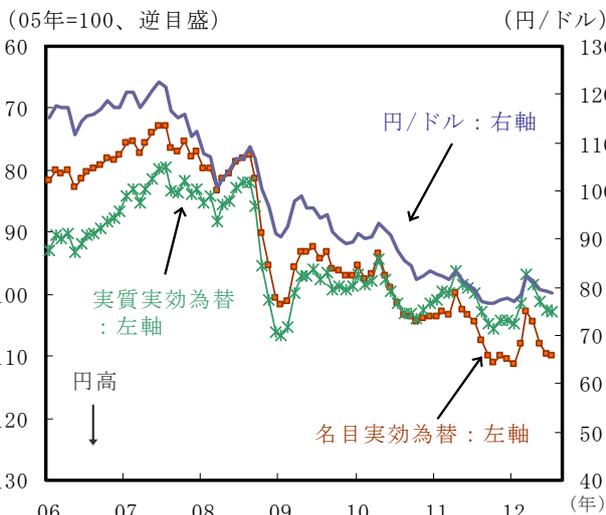


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

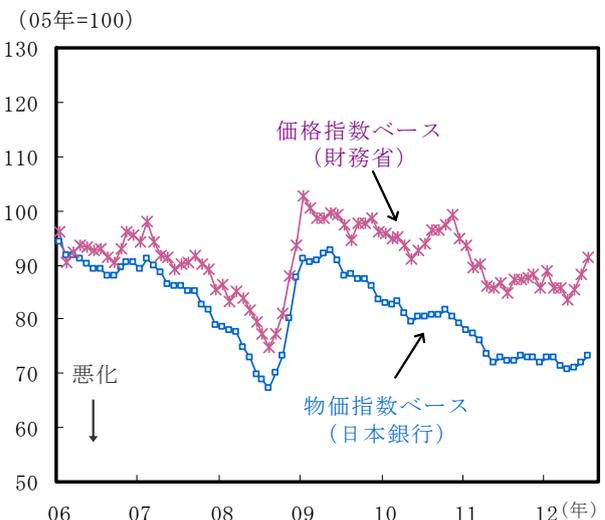
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場



交易条件

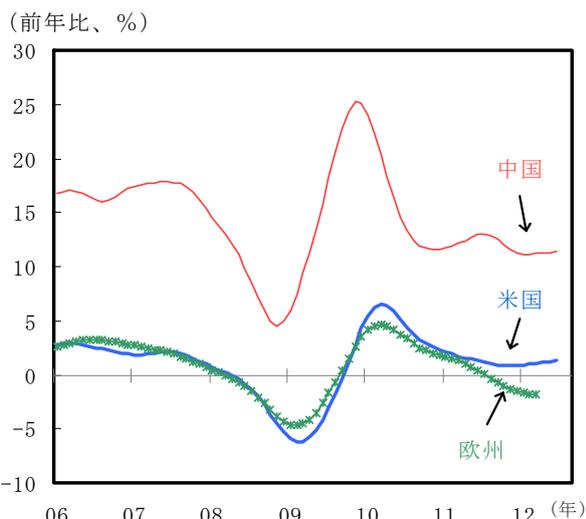


(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

海外環境

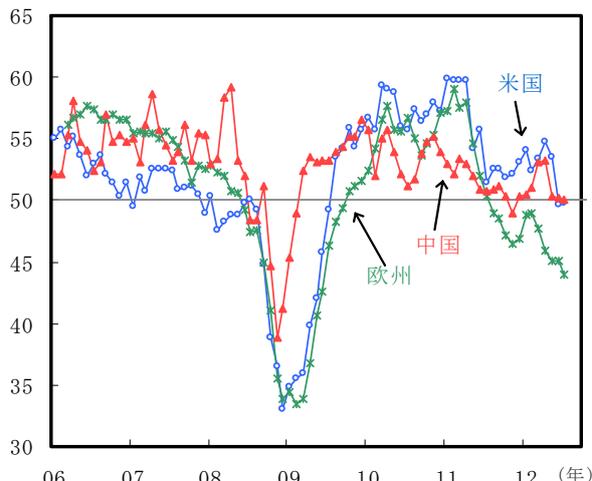
欧州は景気失速

OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）

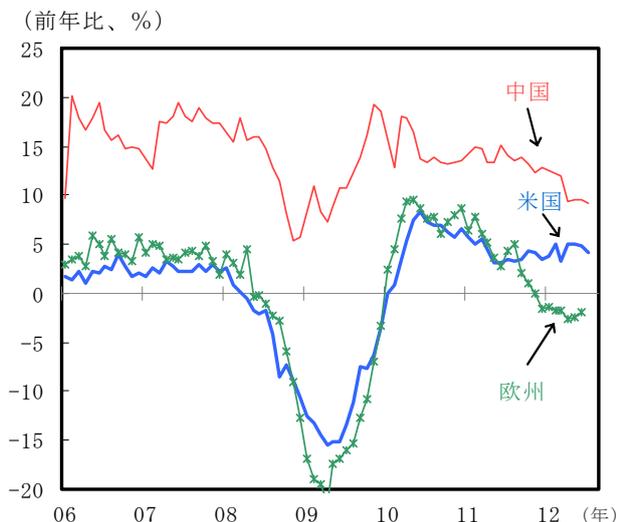


(注) 景気先行指数はトレンドを含むベース。
(出所) OECD、米ISM、中国物流購買連合会、Markitより大和総研作成

製造業PMI（米国・中国・欧州）

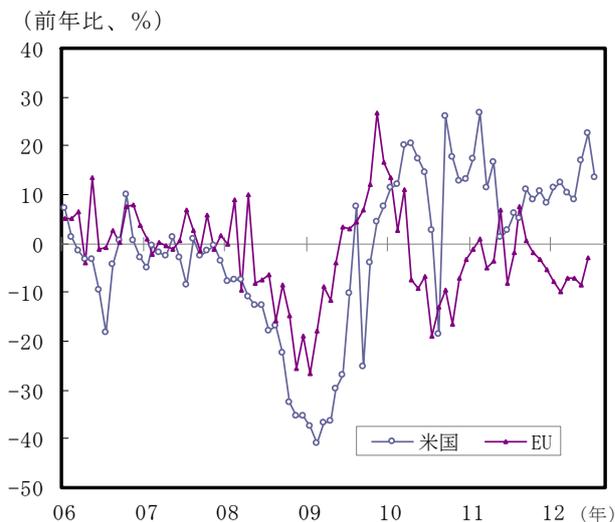


鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）

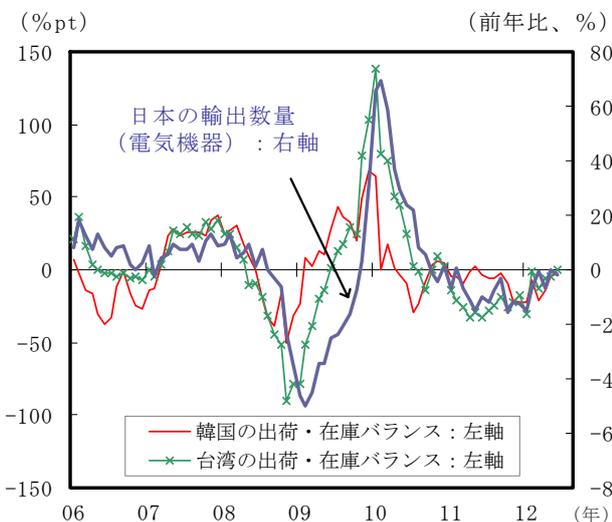


(出所) 中国国家統計局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会(ACEA)より大和総研作成

米国と欧州の自動車販売

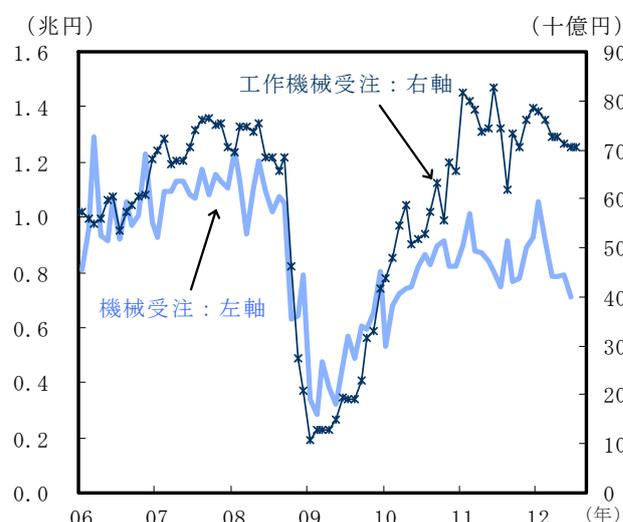


韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）



(注) 工作機械受注の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、内閣府、日本工作機械工業会統計、CEICより大和総研作成

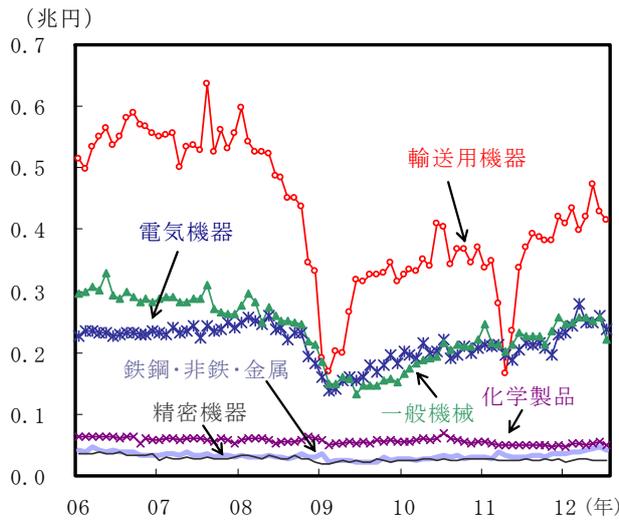
機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）



主要地域・国別の実質輸出(季節調整済み)

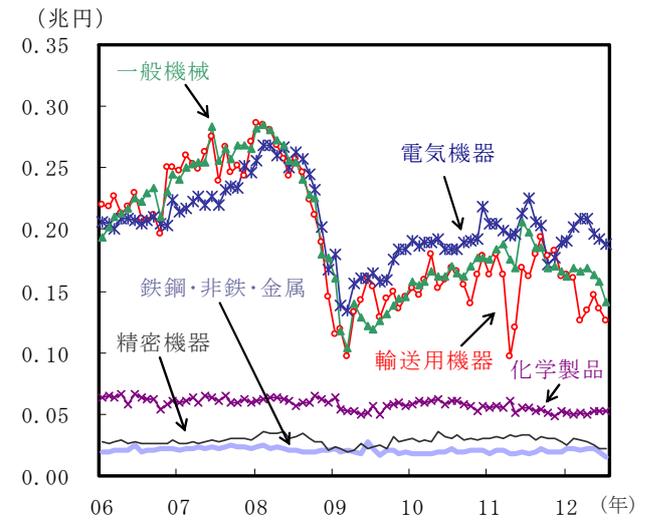
米国向け輸送用機器に一服感

米国向け

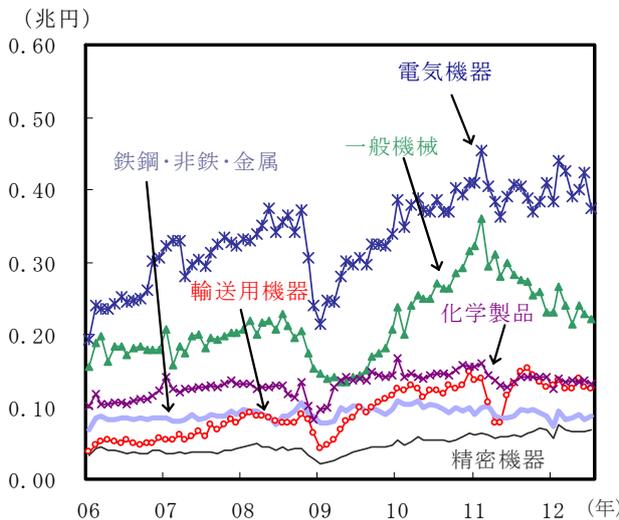


(注) 実質化と季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

EU向け

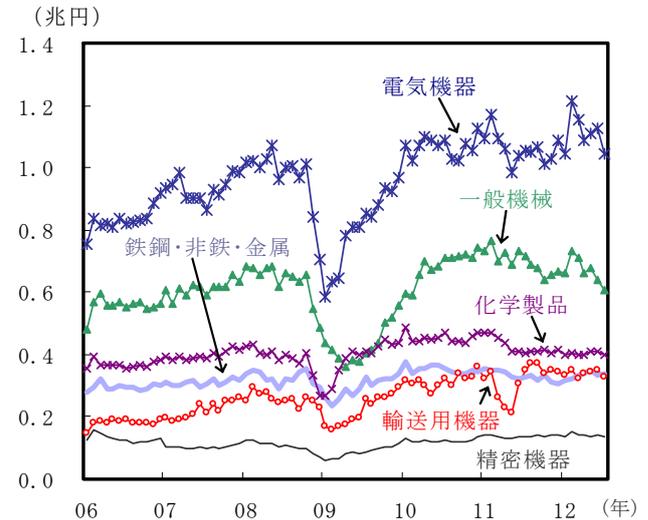


中国向け

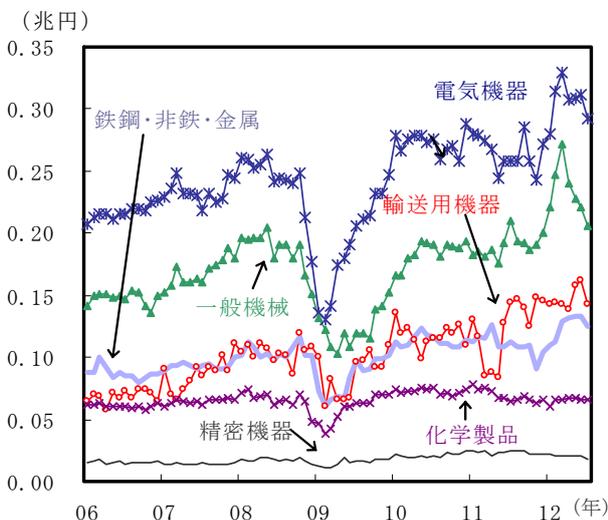


(注) 実質化と季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

アジア向け(中国含む)

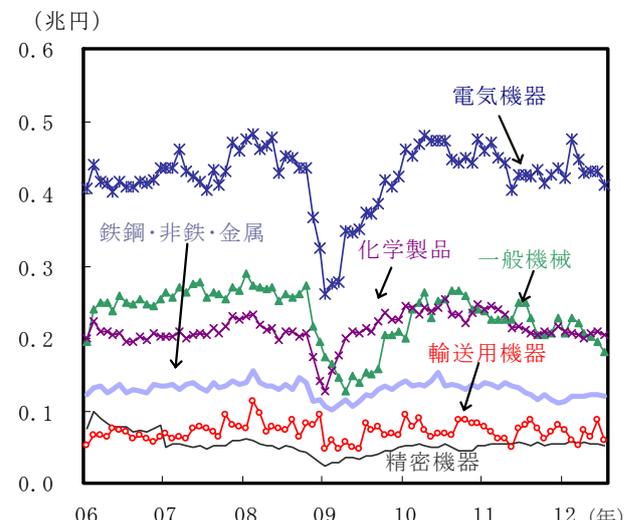


ASEAN向け



(注) 実質化と季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

NIES向け



輸出金額 内訳

	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06	2012/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.7	5.9	7.9	10.0	▲2.3	▲8.1	100.0	▲8.1
食料品	▲14.9	▲12.7	9.8	14.2	1.4	0.3	0.5	0.0
原料品	▲2.6	12.4	11.9	40.0	8.1	1.5	1.6	0.0
鉱物性燃料	▲38.7	▲18.5	51.0	12.2	▲23.5	▲24.6	2.0	▲0.6
化学製品	▲14.9	▲8.4	▲16.1	▲2.5	▲4.4	▲8.2	9.7	▲0.8
原料別製品	▲6.4	▲0.1	▲5.2	6.1	▲3.0	▲5.3	13.5	▲0.7
鉄鋼	▲12.6	▲3.5	▲12.7	9.3	▲5.8	▲1.9	5.8	▲0.1
非鉄金属	2.9	2.6	2.8	3.4	1.7	▲11.5	1.8	▲0.2
金属製品	3.7	9.3	3.5	20.2	18.3	4.1	1.7	0.1
一般機械	▲1.5	4.5	▲2.4	▲1.9	▲10.2	▲13.5	20.1	▲2.9
電気機器	▲3.4	6.1	▲1.4	5.6	0.4	▲9.2	18.1	▲1.7
半導体等電子部品	▲6.0	▲9.2	▲10.6	▲6.8	▲6.8	▲13.9	5.2	▲0.8
I C	▲5.0	▲5.2	▲5.5	▲2.0	▲3.6	▲14.4	3.3	▲0.5
映像記録・再生機器	▲1.5	41.3	88.3	24.3	7.8	▲8.3	1.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲12.6	▲5.2	▲17.5	7.6	4.0	▲12.3	0.7	▲0.1
電気回路等の機器	▲4.6	3.5	▲5.5	7.2	▲3.2	▲9.5	2.5	▲0.2
輸送用機器	5.4	25.4	81.9	50.6	13.2	1.2	23.7	0.3
自動車	7.4	44.7	219.7	87.4	8.6	4.6	15.2	0.6
自動車の部分品	▲1.2	24.2	17.6	46.1	22.1	1.3	5.1	0.1
その他	2.3	▲0.4	▲9.5	▲6.1	▲14.6	▲14.9	10.8	▲1.7
科学光学機器	4.5	3.7	4.1	▲1.3	▲5.9	▲10.1	3.3	▲0.3

米国向け輸出金額 内訳

	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06	2012/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.9	23.9	42.9	38.1	15.1	4.7	100.0	4.7
食料品	9.8	10.1	11.1	▲5.3	▲5.9	▲17.8	0.4	▲0.1
原料品	▲22.0	2.0	▲2.7	160.2	14.6	2.5	0.5	0.0
鉱物性燃料	▲35.0	107.3	▲70.8	▲90.4	5.6	25.5	1.0	0.2
化学製品	▲4.5	4.6	▲4.2	2.2	3.8	▲7.2	4.9	▲0.4
原料別製品	15.5	6.7	8.8	22.3	18.1	9.6	7.7	0.7
鉄鋼	75.9	▲5.1	12.9	29.7	26.2	20.8	2.4	0.4
非鉄金属	▲32.3	13.6	▲6.1	25.4	18.7	▲0.3	0.5	▲0.0
金属製品	18.7	24.7	25.2	52.7	58.6	25.1	1.7	0.3
一般機械	12.4	20.7	25.9	17.0	10.3	▲1.3	23.7	▲0.3
電気機器	7.2	25.6	19.3	22.6	17.5	2.2	14.8	0.3
半導体等電子部品	▲9.2	▲4.7	▲15.6	1.8	14.3	5.2	2.2	0.1
I C	▲5.4	▲5.3	▲19.8	▲4.3	11.6	▲6.3	1.2	▲0.1
映像記録・再生機器	▲3.4	54.1	147.1	38.4	2.8	▲12.2	1.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲11.0	95.2	▲14.3	6.9	8.4	▲11.6	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	8.9	12.1	13.6	19.6	23.2	17.4	1.6	0.2
輸送用機器	20.0	42.5	149.0	95.5	25.0	13.3	38.4	4.7
自動車	26.9	46.2	317.1	128.5	21.8	14.1	28.6	3.7
自動車の部分品	0.5	48.4	25.1	61.9	57.7	8.0	6.7	0.5
その他	▲2.1	4.4	0.3	9.6	▲2.6	▲5.1	8.7	▲0.5
科学光学機器	▲8.2	12.4	2.4	4.8	6.2	▲11.0	2.2	▲0.3

EU向け輸出金額 内訳

	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06	2012/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.7	▲9.7	▲2.0	▲0.9	▲21.3	▲25.1	100.0	▲25.1
食料品	3.6	▲17.5	63.9	6.3	▲49.6	▲14.9	0.2	▲0.0
原料品	15.4	27.2	7.4	68.5	▲23.2	▲26.7	1.0	▲0.3
鉱物性燃料	▲97.3	▲31.2	▲44.1	26.4	▲90.6	33.5	0.1	0.0
化学製品	▲16.5	▲7.1	▲21.4	▲0.1	▲12.6	▲13.0	9.7	▲1.1
原料別製品	▲1.8	▲3.3	5.3	▲0.4	▲17.3	▲22.7	8.2	▲1.8
鉄鋼	▲40.4	▲38.6	▲9.6	42.8	▲23.6	▲23.8	1.4	▲0.3
非鉄金属	174.9	139.2	95.5	24.3	▲9.4	▲28.1	0.8	▲0.2
金属製品	4.1	▲9.5	▲8.5	▲2.9	3.2	▲16.3	1.6	▲0.2
一般機械	▲11.0	▲11.2	▲5.2	▲4.2	▲23.9	▲28.3	25.8	▲7.6
電気機器	▲9.0	1.7	0.2	▲7.6	▲16.0	▲23.0	21.7	▲4.8
半導体等電子部品	▲22.7	▲38.3	▲43.2	▲44.2	▲44.3	▲44.9	2.6	▲1.6
I C	▲16.0	▲8.8	▲17.5	15.8	1.5	▲23.7	1.3	▲0.3
映像記録・再生機器	▲21.7	16.8	55.5	14.9	6.9	3.9	3.9	0.1
音響・映像機器の部分品	▲22.3	▲4.6	50.0	35.1	32.6	17.2	1.1	0.1
電気回路等の機器	▲18.0	▲5.6	▲11.7	▲14.4	▲20.4	▲23.0	1.8	▲0.4
輸送用機器	▲12.6	▲23.9	36.3	19.2	▲20.8	▲22.6	20.2	▲4.4
自動車	▲31.0	▲26.2	104.6	12.5	▲25.0	▲28.0	11.7	▲3.4
自動車の部分品	▲0.2	5.7	12.8	20.0	▲7.8	▲2.2	6.6	▲0.1
その他	▲1.8	▲6.6	▲21.5	▲13.5	▲29.0	▲33.9	13.2	▲5.1
科学光学機器	▲7.8	▲6.1	▲17.7	▲22.3	▲31.8	▲32.3	3.9	▲1.4

アジア向け輸出金額 内訳								
	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06	2012/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.6	0.5	▲2.6	4.5	▲4.4	▲9.0	100.0	▲9.0
食料品	▲22.7	▲16.8	8.0	21.5	8.3	5.1	0.7	0.0
原料品	▲0.6	13.9	17.0	31.6	12.8	3.9	2.3	0.1
鉱物性燃料	▲36.7	▲13.9	35.3	20.2	▲25.6	▲10.2	3.0	▲0.3
化学製品	▲16.5	▲10.7	▲12.6	▲5.2	▲6.1	▲9.6	13.0	▲1.3
原料別製品	▲10.9	▲6.0	▲8.6	0.2	▲5.1	▲7.6	16.7	▲1.3
鉄鋼	▲16.6	▲10.3	▲15.4	▲1.8	▲9.8	▲4.2	7.6	▲0.3
非鉄金属	▲1.0	▲3.9	3.3	0.9	▲1.2	▲11.7	2.8	▲0.3
金属製品	▲3.0	8.7	1.7	14.8	13.7	▲0.8	1.8	▲0.0
一般機械	▲6.1	1.9	▲10.0	▲3.6	▲13.5	▲15.2	19.8	▲3.2
電気機器	▲4.1	2.5	▲4.3	4.5	0.8	▲8.3	22.1	▲1.8
半導体等電子部品	▲4.3	▲6.6	▲6.1	▲3.3	▲4.0	▲12.4	8.0	▲1.0
I C	▲4.3	▲5.0	▲3.7	▲2.7	▲4.8	▲14.5	5.4	▲0.8
映像記録・再生機器	15.5	53.5	79.8	25.5	18.4	▲11.0	1.0	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲7.0	5.3	▲12.2	9.2	2.3	▲13.9	0.8	▲0.1
電気回路等の機器	▲5.0	2.1	▲9.2	8.7	▲5.1	▲10.3	3.5	▲0.4
輸送用機器	▲1.3	23.2	47.1	59.4	12.4	▲5.1	9.5	▲0.5
自動車	2.1	46.6	148.6	86.3	4.6	5.7	4.5	0.2
自動車の部分品	▲5.7	18.2	11.1	45.7	14.2	▲7.0	4.1	▲0.3
その他	8.7	4.5	▲1.6	0.6	▲5.1	▲6.4	12.9	▲0.8
科学光学機器	8.0	2.9	6.6	0.6	2.5	▲3.1	4.1	▲0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06	2012/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲14.0	▲5.9	▲7.1	3.0	▲7.4	▲11.9	100.0	▲11.9
食料品	▲25.7	▲28.0	118.7	127.9	111.5	90.7	0.2	0.1
原料品	▲1.9	8.3	25.3	24.6	▲3.6	▲2.2	3.5	▲0.1
鉱物性燃料	▲27.8	▲36.0	34.1	▲12.2	▲52.6	24.0	1.8	0.3
化学製品	▲16.1	▲5.9	▲3.8	▲1.1	▲0.7	▲9.4	12.3	▲1.1
原料別製品	▲9.5	▲14.8	▲10.2	▲0.8	▲9.4	▲11.4	13.8	▲1.6
鉄鋼	▲15.7	▲21.4	▲15.7	▲5.3	▲20.2	▲8.5	5.0	▲0.4
非鉄金属	8.9	▲19.2	9.5	7.1	▲2.2	▲11.3	2.6	▲0.3
金属製品	▲14.2	▲2.5	▲11.8	10.0	10.0	0.1	1.8	0.0
一般機械	▲28.0	▲18.1	▲31.9	▲14.9	▲24.8	▲22.0	21.3	▲5.3
電気機器	▲9.3	1.9	▲5.7	1.9	1.1	▲14.5	23.3	▲3.5
半導体等電子部品	0.4	▲2.0	▲8.4	▲3.1	2.6	▲17.2	7.9	▲1.5
I C	▲0.7	1.1	▲7.7	▲5.1	▲3.7	▲23.8	5.4	▲1.5
映像記録・再生機器	37.9	63.8	115.6	19.7	40.8	4.3	1.6	0.1
音響・映像機器の部分品	▲25.9	▲5.8	▲7.8	▲6.5	6.9	▲12.7	1.0	▲0.1
電気回路等の機器	▲9.6	0.4	▲14.4	3.2	▲9.7	▲18.3	3.6	▲0.7
輸送用機器	▲5.0	16.9	56.9	74.3	5.8	▲5.3	10.9	▲0.5
自動車	▲8.2	22.8	254.0	113.5	▲0.0	7.6	5.4	0.3
自動車の部分品	▲7.8	14.0	6.3	51.4	14.9	▲14.9	5.4	▲0.8
その他	▲0.2	3.4	1.3	9.6	6.7	▲1.6	12.9	▲0.2
科学光学機器	16.7	9.8	15.5	10.6	10.9	10.9	6.0	0.5

(出所) 財務省統計より大和総研作成